



土石流模型実験装置を使用して砂防堰堤の役割を説明 ～黒川小学校児童へ防災学習を実施しました～

9月9日、胎内市立黒川小学校において飯豊山系砂防事務所職員による防災学習を実施しました。土砂災害の恐ろしさや防災の重要性を伝えるために、先月の大雨により発生した被害や昭和42年の羽越災害等のパネルや土石流模型実験装置を用いて説明を行いました。

児童からは、「砂防堰堤の効果が分かった」「砂防堰堤に空いている穴(水抜き暗渠)は何ですか?」「土石流が来ても砂防堰堤は壊れないの?」といった子供ならではの素朴な質問や感想がありました。

今回の学習を通し土砂災害について理解をより深め、防災意識を高めてほしいです。

昭和42年の羽越災害
では胎内市でも多くの
被害がありました。

大雨が降ると土石流
など土砂災害が起
りやすくなります。

実験の様子がわかる動画を飯豊山系砂防事務所のHPで公開しています。



■ホームページ公開ページ

<https://www.hrr.mlit.go.jp/iide/role/arakawatisuisabou.html>



パネルを使って説明



土石流模型実験装置体験



土石流模型実験装置を用いた実験の様子